



## 学内ポータルとの連携により 利用者インタフェースをワンストップ化

札幌医科大学様では、LIMEDIOの図書館ポータル機能と総合情報センターのポータルサイトを連携させました。これにより、総合情報センターの利用者は、ポータル画面上で図書館からの各種お知らせ情報も参照できるようになりました。

### 図書館から 総合情報センターへ

札幌医科大学附属総合情報センターは、従来の附属図書館と附属情報センターの統合により2006年4月にスタートしました。これは図書館サービスのウエイトが出版物から電子情報に移行してきている状況をふまえ、高度化情報時代に対応した学術情報の提供を推進していくことを狙いとしたものです。「それ以前も、図書館と情報センターは同じ建物に設置され、相互に協力しながら活動を進めていました。今回の統合では、組織の統合により人材の再配置も行い、従来以上に先進的で効果的

な教育・研究活動の支援を進めることを狙いとしています。」(中山主任司書)

なお、総合情報センターは学内利用者や卒業生の支援はもちろん、北海道の医療従事者への学術情報提供の役割も担っています。既に約2千名の学外利用者が登録されており、文献複写等のサービス提供が行われています。

### サービスの拡大にとめない 認証手続きも増加

総合情報センターが利用者に提供しているコンテンツの豊富さは国内でも有数であり、OPAC 以外にも、Metalib/SFX<sup>1</sup> や数多くの電子ジャーナ

ルがあります。しかし、IP 認証を行う電子ジャーナルを除き各システム毎にユーザー認証が必要となるため、利用者の操作手順が煩雑になっていました。

特に、利用者個人向けの情報が充実している図書館システムのポータル機能は利用頻度が高く、総合情報センターのポータルとの統合が課題となっていました。

### Web サービス機能を用いて ポータルを連携

「ポータル連携はベンダー依存のシステムにはしたくないので、なんとか標準的なインタフェースで実現したいと考えていました。今回のシステム更新の検討にあたり、リコーさんより LIMEDIO ポータル機能の Web サービス<sup>2</sup>化を予定しているという情報を聞き、総合情報センターのポータルとの連携が期待通りに実現できそうだと考えました。」(今野主査)

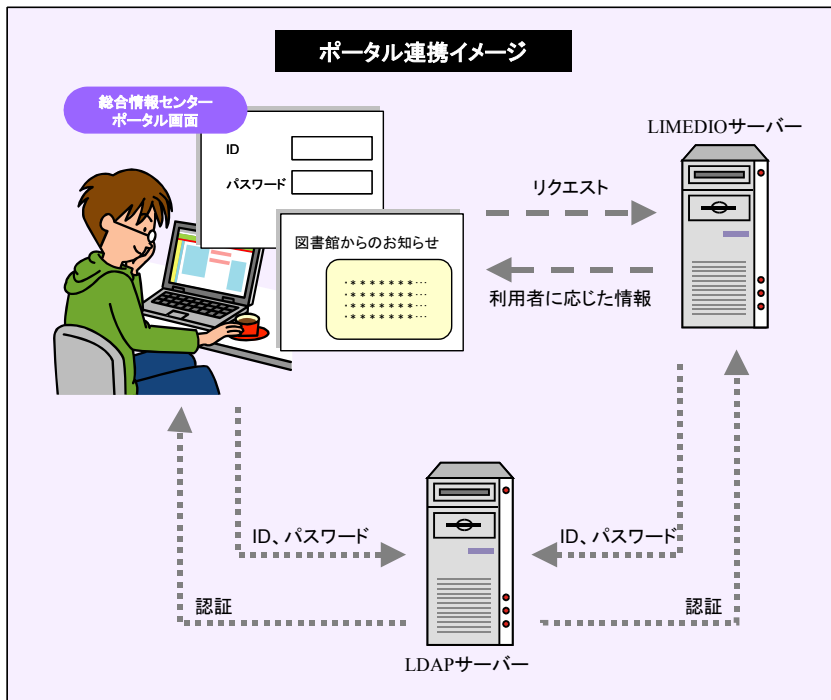
LIMEDIO では、今後ますます重要性が高まることが予想される外部システムとの連携に向けて Web サービス化を進めていましたが、今回の連携では、LIMEDIO ポータルの情報を XML<sup>3</sup> で渡すことにより、総合情報センターポータ



札幌医科大学附属総合情報センターの皆様  
左から中山様、今野様、福井様、大前様、池崎様

<sup>1</sup>「MetaLib/SFX」MetaLibは複数データベースの横断検索システム。SFXは検索結果などから関連情報へのナビゲートを行うリンクツール。いずれも、ExLibris社の製品。

<sup>2</sup>「Webサービス」インターネット関連技術を応用して、標準形式のプロトコルを用いメッセージの送受信を行う技術およびこれを用いたサービス。  
<sup>3</sup>「XML」インターネット上でのデータ交換を意識して設計された汎用的なデータ記述言語。



ル上で、図書館から利用者個人への様々なお知らせ情報を表示できるようになりました。

### 利用者認証の統合も実現

これこともない、図書館システム独自で行っていた利用者認証も総合情報センターのLDAPと統合しました。新システムでは、IDとパスワードの管理はLDAPサーバで行いますが、利用権限の制御にLIMEDIOの認証を使用しています。さらに、「総合情報センターではLDAPサーバに登録されていない学外利用者へのサービスも行っていますので、LDAPへの登録がない場合は、LIMEDIOの認証も利用できるようにし

ています。」(今野主査)

また、電子ジャーナルのアクセス管理にも図書館システムの認証を利用することにしました。「LIMEDIOの認証を利用したシステムを追加することにより、学外のコンピュータからでも電子ジャーナルを容易に利用できるようになりました。また、本学には、学内ネットワークは利用できても電子ジャーナルへのアクセスを認めていない利用者もいます。本学で購読している電子ジャーナルは主にIP認証<sup>4</sup>を用いていますが、LIMEDIOの認証を使って、権限を持たない利用者のアクセス制限を行うことが可能となりました。」(今野主査)

### さらなる利用者環境の充実に 向けて

利用者は、総合情報センターと図書館システムのポータルおよび認証システムの統合により、必要な情報に、今まで以上に簡単にアクセスすることができるようになりました。「今後はさらに、横断検索システム等のポータルも総合情報センターのポータルと統合できないかと考えています。また、個別のパスワード入力が必要とする電子ジャーナルもありますので、これらのアクセス管理も一元化できるとうれいすね。かつて実現不可能と思われていたことも、メーカーさんの協力をいただきながら本学では少しずつ実現してきました。確かにハードルは高いかもしれませんが、理想的な利用者環境の実現に向けて今後も努力していきたいと思います。」(今野主査)

大学内はもちろん北海道の医療従事者の学術情報支援に力を注ぎ、常に利用者の視点で先進的なサービスを提供し続ける札幌医科大学附属総合情報センター様。リコーも、これからの利用者環境の追及に貢献できるよう、システムの研究・開発を進めていきます。

■ この記事は2008年2月4日の取材に基づいています。

#### 担当SEから一言



お客様のご要望を実現し業務課題を解決することでLIMEDIOも成長してまいりました。そのためには、常に新技術にチャレンジし、スキルアップを進めていく必要があります。これからも私達は技術習得に向け日々努力を続けていきます。(リコー：稲岡)

#### 図書館プロフィール

奉仕対象	3,548人
図書館職員(専任)	18人
蔵書数(図書)	209,049冊
蔵書数(雑誌)	6,370タイトル
年間受入数(図書)	4,372冊
年間受入数(雑誌)	1,759タイトル
年間貸出冊数	19,922冊

(2007年3月31日現在)

#### システム機器構成

業務DBサーバー	1式
検索DBサーバー	1式
業務APサーバー	2式
業務用端末	17台
業務用プリンター	4台

札幌医科大学附属総合情報センター  
ホームページ  
<http://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/>

<sup>4</sup>「IP認証」アクセス元コンピュータのIPアドレスにより可否判断を行う認証方式